

第6章 計画の評価指標

本計画を計画的・効果的に進めていくため、次のとおり評価指標を設定し、進捗度を測ります。

1 評価指標設定の考え方

現在の社会情勢から勘案すると、今後も空き家等の増加は避けられない見通しです。このような状況の中で、空き等の有効活用を図るとともに、市民生活に大きな影響を与える管理不全な空き家等の増加を抑えることが、この計画の目標となります。

2 評価指標

	指標	目標値
支援	① 空き活用アドバイザーを活用した件数	R4～R8年度の期間で100件
	② 危険空き解体工事補助を活用して解体した空き件数	R4～R8年度の期間で150件
指導	① 周辺住民等から相談を受けた空き等・住家等の改善した割合	R8年度までに75%
	② 周辺住民等から相談を受けた空き地の改善した割合	R8年度までに75%